

6月は環境月間です

国連では6月5日を、「世界環境デー」と定め、この日に世界各地で環境保全の重要性を認識するための行事が行われています。また、日本では、6月の1か月間を「環境月間」としています。

次の世代に豊かな自然環境を残すため、地球環境に対する意識を高めていただき、身近でできることから取り組んでいきましょう。

☎衛生環境課 ☎ 874-2189

01 向日市の現状

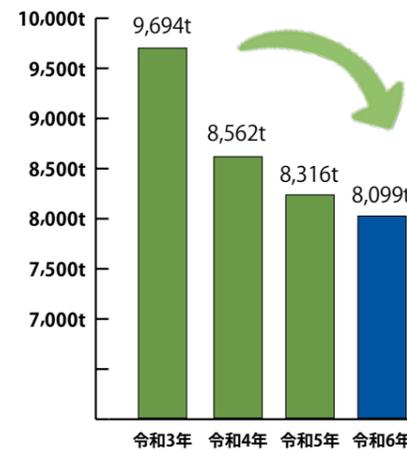
ごみの焼却によって生じる温室効果ガスは、地球温暖化の一因とされています。ごみを出さないこと、もやすぐみと資源物を正しく分けることが大切です。

市では、令和4年2月から指定ごみ袋制度をスタートし、古紙回収助成金制度の導入や古紙、古着などの回収拠点を整備してきました。

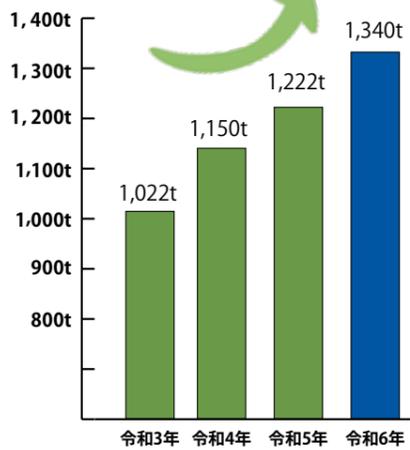
次の世代により良い環境を引き継げるよう、引き続きごみの減量・分別にご協力をお願いします。



もやすぐみ



資源物



毎年もやすぐみが減量し、資源物(リサイクル)の量が増加しているよ!



ご協力ありがとうございます!

ご活用ください

02 古紙等集団回収助成金事業のご案内

■ 古紙などの回収団体を募集しています

市では、ごみの減量、資源の有効利用とごみのリサイクル意識の向上を目的に、古紙などの回収を実施する団体に助成金を交付しています。古紙回収を実施している団体、これから始めようと考えている団体は、ぜひこの制度を活用し、地域活動にお役立てください。

※この制度を利用するには事前の登録が必要です。詳しくは市ホームページをご覧ください。衛生環境課までお問い合わせください。



▲市ホームページはこちら

■ 助成金額

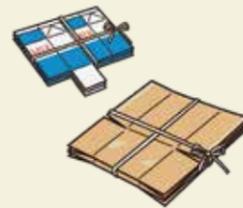
回収量(kg) × 5円 ※令和6年度は1団体につき平均 25,379円を助成

■ 対象団体

自治会、子ども会、PTA、老人クラブ、共同住宅の管理組合、社会福祉法人、地域住民で構成の営利を目的としない団体

■ 対象品目

紙類(新聞紙、雑誌、ダンボール、紙パック、雑がみ)、布類(古繊維)



6,000ダウンロード突破!!



03 ごみ分別アプリ、粗大ごみインターネット受付システム利用のご案内

■ ごみ分別アプリの利用を

ごみを出す日や捨て方などで困った経験はありませんか? 「向日市ごみ分別アプリ」は、ごみの収集日や出し方、ごみを出すときの注意点など、ごみに関するさまざまな情報を簡単に確認できるアプリケーションです。

ぜひ、ごみの分別や資源化にご活用ください。



▲ iPhone版 ▲ Android版

■ インストール方法はこちら

App Store または Google Play で「向日市」または「向日市ごみ分別アプリ」を検索し、アプリをダウンロードしてください。



■ 粗大ごみは「インターネット申込み」をご利用ください

24時間いつでもスマートフォンやパソコンから申し込むことができ、手数料の支払いも、従来の手数料券を取扱所で購入する方法のほかに、オンライン決済(クレジットカード)が可能です。便利なインターネット申込みをぜひご利用ください。

6月は環境月間です …… 2

ゼロカーボンシティの実現を目指して …… 4

水道と下水道の基本料金を減免します …… 6

6月28日は京都サンガF.C.向日市ホームタウンデー …… 7

くらしの情報 …… 12

子育て支援情報 …… 22

健康づくり情報 …… 24

各種相談日程 …… 25

図書館だより …… 26

スポーツフレンドシップ協定連載(カグヤライズ編) …… 27

- 市役所への窓口来庁や電話でのお問い合わせは、平日午前8時30分～午後5時15分までです。電話は、各担当課の直通電話(または代表番号 ☎931-1111)にお掛けください。*公民館やコミセンなどの公共施設は、各施設の開館時間内をお願いします。
 - 市役所へのファクスは☎922-6587、郵便物は〒617-8665 向日市役所(住所不要)、電子メールは✉info@city.muko.lg.jpにお送りください。*ファクス、郵便物、電子メールには、市役所のどこの課(担当課名)宛てかをお書きください。
 - 参加費などの記載がないものは、無料でご参加いただけます。
- ☎=お問い合わせ ☑=ホームページアドレス
☎=ファクス ✉=電子メールアドレス

広報むこうは市ホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.muko.kyoto.jp/>
市公式SNSはQRコードからご覧ください。



【まちのうごき】(令和7年5月1日現在)
住民基本台帳人口
人口 56,045人 世帯数 25,834世帯
(男性 26,871人、女性 29,174人)
推計人口
人口 55,533人 世帯数 23,912世帯
(男性 26,403人、女性 29,130人)



ぜひご利用ください!



令和7年度ゼロカーボン推進補助金 受付中!

市ではゼロカーボンを推進するために、創エネ・蓄エネ・省エネ技術が使われている設備を導入した方に対して、設置費用の一部を補助しています。

受付期間

設置前申請 / 令和8年1月30日(金)まで
設置後申請 / 令和8年2月27日(金)まで



▲市ホームページ



▲しんきゅうさん (環境省ホームページ)



▲しんきゅうさん使用方法 (市ホームページ)

■エアコン

- 補助額 / 設置費用の2割 (上限40,000円)
- 設置後申請 / 購入したエアコンの代金支払日と設置日を比べて遅い方の日から30日以内
- 対象設備 / 買替え前のエアコンと比べて30%以上の省CO2効果が得られるエアコン (省CO2効果: 期間消費電力量の比較)

■太陽光発電設備 ※非FITで蓄電池を同時設置した場合は、①と②両方申請可
※①は単独申請可

補助額	非FITの場合	FIT or 非FITの場合
家庭用	①70,000円/kW(上限なし)	②10,000円/kW(上限40,000円) + 10,000円 ※⑤と同時設置した場合
事業所用	③50,000円/kW(上限なし)	

■蓄電池 ※非FITの太陽光発電設備を同時設置した場合は、④と⑤両方申請可

補助額 (家庭用)	①と同時設置	②と同時設置	単独設置(卒FITなど)
	④設置費用の1/3補助 (上限60,000円/kWh)	⑤15,000円/kWh (上限90,000円)	⑥50,000円/kWh (上限なし)

■家庭用燃料電池 (エネファーム)

- 補助額 (家庭用)
 - ⑦設置費用の1/2補助 (上限250,000円) ※単独設置
 - ⑧設置費用の1/2補助 (上限800,000円) ※太陽光発電設備及び蓄電池と同時設置した場合

■高効率給湯機器

●補助額 (家庭用) / ⑨設置費用の1/2補助 (上限300,000円) ※太陽光発電設備及び蓄電池と同時設置した場合

申請時期

	太陽光発電設備	蓄電池	家庭用燃料電池 (エネファーム)	高効率給湯機器
設置前	① ③	④	⑦ ⑧	⑨
設置後	②	⑤ ⑥		

ゼロカーボンシティの実現を目指して



近年、ゲリラ豪雨や季節外れの気温上昇など、異常気象が頻発しており、その主な原因は二酸化炭素などの温室効果ガスによるものと言われています。

向日市では令和4年10月に「向日市ゼロカーボンシティ宣言」をし、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロ(ゼロカーボン)を目指す取り組みを実施しています。

☎ゼロカーボン推進課 ☎874-3499

温室効果ガスの発生要因である電気について

私たちの暮らしを豊かにしてくれる電気は、生活する上で必要不可欠なものです。

しかしながら、その電気は石油や石炭などの化石燃料を使用した火力発電によるものが、8割以上を占めており、その化石燃料が温室効果ガスの一つである二酸化炭素を発生させ、地球温暖化の原因となっています。また、それらの化石燃料は限りあるエネルギー資源であり、永続的に使えるものではありません。

そこで地球温暖化を防止するためには、省エネ家電の使用によってエネルギーの無駄遣いを減らし、太陽光や風力などの再生可能エネルギーを活用し、温室効果ガスを排出しない方法で電気をつくる必要があります。

電気を賢く使うエネルギー利用の方法



太陽光発電設備



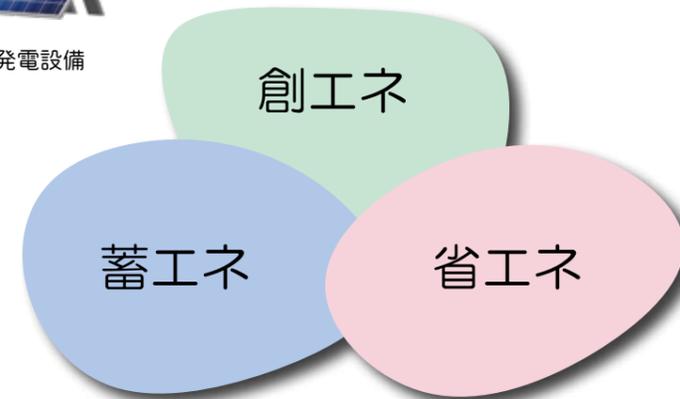
家庭用燃料電池 (エネファーム)



エアコン



蓄電池



給湯器



創エネとは・・・電気を自らつくる取り組み (例: 太陽光発電設備)

蓄エネとは・・・電気を蓄える取り組み (例: 蓄電池)

省エネとは・・・エネルギーを効率良く使用する取り組み (例: 省エネ家電)